

4 監督者アドバンス研修

－ 上級監督者を目指すための指針を与える －

対象者

上級監督者（係長・作業長あるいはその候補）クラスの方
 募集人員：30名/回
 最少催行人数：10名

期日（2泊3日、合宿研修）

第194回 5/24(水)～5/26(金)
 第195回 10/23(月)～10/25(水)

参加費（研修日の宿泊費、食費含む）

88,000円/名（消費税別）

研修・宿泊場所

ホテルフクラシア大阪ベイ

ねらい

企業をとりまく情勢は、一段と複雑かつ多様化しており、監督者として、問題解決能力だけでなく、柔軟に対応できるマネジメント能力及びリーダーシップの向上が望まれています。

講義を通じてより広い視野を得ると共に、グループ討議および他社の人たちとの交流を通じて自己の行動の変革をめざし、日常の監督行動改善へのステップとします。

- ① いま求められる監督者のありかたを、実感として気づく機会となります。
- ② 他社の監督者との交流を通じて諸問題を共有することにより、自職場の問題を見つめ直す機会となります。
- ③ 鉄鋼業界の現状認識・労働事情並びに監督者への期待についての理解を講義の聴講によって深め、監督者のあるべき姿・今後の行動指針について考える手がかりとします。

研修内容

- ① 講義で、鉄鋼業界の雇用環境と監督者に求められる「あるべき姿」、必要な管理能力を学習頂きます。
- ② 事例研究として、「八甲田山死の彷徨」を題材にし、グループ討議により、リーダーとしての判断力、行動を考え、また、管理監督者としての職場での行動面を見直して頂きます。
- ③ 課題研究では、参加者の抱える職場の問題点を共有し、グループ討議で、課題設定、原因究明、対策立案、実行計画書作成までのプロセスを実行し、職場の課題解決に結びつけて頂きます。
- ④ グループ討議や交流会を通じて、人的ネットワークを構築すべく進めます。

カリキュラム

	第1日目	第2日目	第3日目
8:30	9:30 受付開始 9:45 ・オリエンテーション ・情報交換 ・グループコミュニケーション	事例研究2 ・「八甲田山死の彷徨」鑑賞	グループ討議(課題研究) ・原因究明 ・対策の検討
13:00	講義 「これからの労働事情」 〈講師：高炉労政担当室長クラス〉 ・質疑応答 事例研究1 グループ討議 ・小冊子から学ぶ	グループ討議（事例研究2） ・「八甲田山」から学ぶ 事例研究発表 グループ討議(課題研究) ・問題点の共有化 ・現状把握	グループ討議 ・実行計画書の作成 課題研究発表 (グループ発表) 16:00頃解散
18:00			